リモコン操作音を消音する

①リモコン操作音のデフォルト設定はONです。
②リモコン操作音を消音したい場合、SwitchBotアプリの該当シーリング→設定→操作音設定にて設定してください。

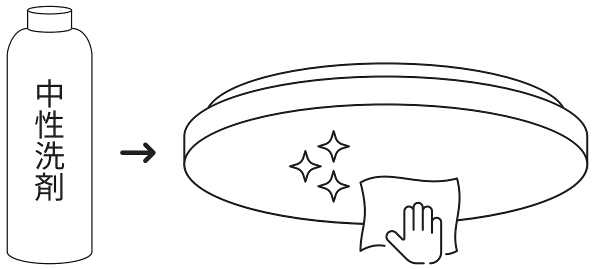
ファームウェアアップデート

より快適にご利用いただくために、常にファームウェアを最新のバージョンに更新することはおすすめです。新しいバージョンがあると、アカウントにアップデートの通知を送信します。ファームウェアのアップデートを行う際に、SwitchBot製品が電源に接続していることを確認して、スマホをSwitchBot製品に近づけて行ってください。

お手入れ方法

安全のため、主電源（壁スイッチなど）を切り、器具の周辺が冷めてから行ってください。

①明るく安全に使用していただくために、定期的(6ヶ月に1回程度）に清掃、点検してください。
②ベンジン、シンナーなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質の原因となります。
③セードなど、樹脂部分の汚れを取るときには、柔らかい布に石けん水（中性洗剤）を含ませて汚れを拭き取り、洗剤が残らないように乾拭きしてください。



困ったときは

Q：リモコンで操作できない

A：❶リモコンの電池が正しく入っていない。→リモコンの電池を正しく入れる。
❷リモコンの電池が消耗している。→リモコンの電池を交換する。
❸リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない。→「照明器具のチャンネル設定方法」を参照し、リモコンのチャンネルを変更する。

Q：点灯しない

A：壁スイッチがOFFになっている。→壁スイッチをONにする。

Q：勝手に消灯する

A：「タイマー」がONになっていた。→壁スイッチをOFFにするか、リモコンで「タイマー」を切ってください。

Q：壁スイッチをONにしても点灯しない

A：本体が「消灯」状態になっている。→「壁スイッチで操作する」を参照し壁スイッチを短く（1秒以内）操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチをONにしてリモコンで切り替えてください。

Q：勝手に点灯する

A：非常に短い停電などにより壁スイッチ機能がはたらき、点灯状態が切り替わった可能性がある。

詳細はQRコードまたはウェブサイトにてご確認ください。
https://support.switch-bot.com/hc/ja/categories/5186276164631

製品仕様

~6畳用

製品型番：W2612230
全光束：3500lm（全灯・全光時）
電源：AC100V 50/60Hz
消費電力：36W
待機電力：2.2W
本体材料：鉄
セード材料：PMMA
本体寸法：Φ390×H96mm
本体重量：約1100g
動作温度：0°C~40°C
通信方式：2.4GHz Wi-Fi、Bluetoothバージョン4.2以降
対応OS：iOS 11.0以降、Android 5.0以降

~8畳用

製品型番：W2612240
全光束：4000lm（全灯・全光時）
電源：AC100V 50/60Hz
消費電力：43W
待機電力：2.2W
本体材料：鉄
セード材料：PMMA
本体寸法：Φ390×H96mm
本体重量：約1100g
動作温度：0°C~40°C
通信方式：2.4GHz Wi-Fi、Bluetoothバージョン4.2以降
対応OS：iOS 11.0以降、Android 5.0以降

保証

保証期間がご購入日から1年間になります。保証期間内には製品の交換・返品・返金等を対応いたします。ただし、以下のいずれかに該当する場合は保証範囲以外でございます。

1.不適切な取り扱いや誤用・乱用等による故障や損傷
2.不適切な使用環境での使用や保存等による故障や損傷(例えば：水のかかる環境で使用したり、デバイスを取り付けする時の落下による故障)
3.不当な修理や改造・分解及び異常電圧等に起因する故障や損傷
4.本製品仕様に適合しないサードパーティのコンポーネントまたは製品との併用に起因する故障や損傷
5.弊社が発行するガイドラインの範囲を超えた製品の操作に起因する故障や損傷
6.火災・地震・水害及び盗難等の災害による故障や損傷
7.電池などの消耗部品または経時的に劣化が当然予測される部品
8.公式サイトや店舗以外の方式でご購入の場合(例えば:中古屋で購入など)
9.その他当社の責任とみなされない故障や損傷

アフターサービス

製品についてのご意見とご不明な点等がございましたら、下記の方法でお気軽にお問い合わせください。

①SwitchBotアプリのプロフィールの「フィードバック」
フィードバックにはスマホスクリーンの録画機能があります。ご利用中に動作不良等の問題がございましたら、迅速に問題を判明させて頂くため、是非ご利用ください。
②サポートメールアドレス：support@wondertechlabs.com
③サポートウェブサイト：support.switch-bot.com/hc/ja

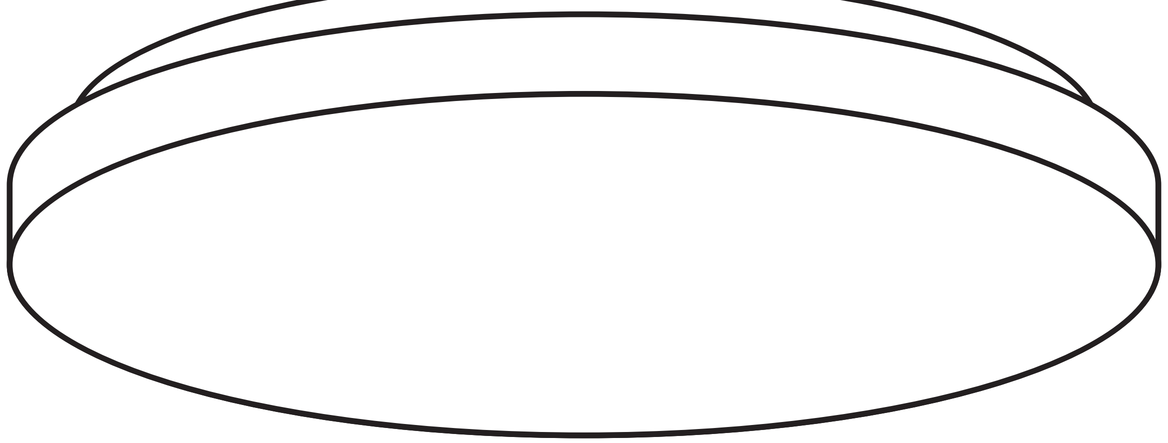
※お客様の個人情報のお取り扱いについて

弊社はお客様の個人情報を、弊社製品のご相談への対応や修理及びその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。ご提供いただいた個人情報は適切に管理し、お客様の個人情報の保護に万全を尽くしてまいります。

www.switchbot.jp
V1.0-2205

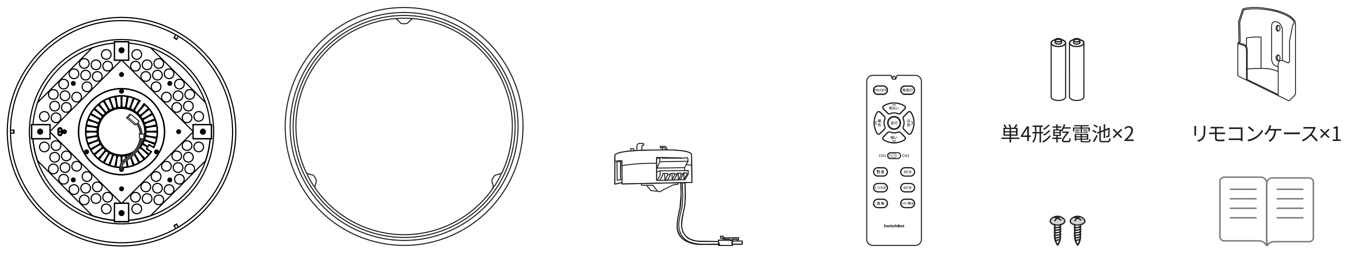
SwitchBot シーリングライト

取扱説明書



※ このたびは、SwitchBot製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

パッケージ内容



本体×1　セード×1　専用取付アダプター×1　リモコン×1　単4形乾電池×2　ネジ×2　リモコンケース×1　取扱説明書×1

安全上のご注意

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、記載事項をお守りいただき、正しくお使いください。お読みになったあとは、（いつでも見られる所に）必ず保管してください。

表示について：表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。
⚠ **警告**　この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ **注意**　この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。（下記は図記号の一部です）
🚫 **禁止**　この図記号は、してはいけない「禁止」内容です。
❗ **指示**　この図記号は、必ず実行していただく「指示」内容です。

取り付け時の安全上のご注意

⚠ 警告		
❗ 必ず守る	• **器具の取り付けは、重量に耐えるところに取扱説明書にしたがい確実に行う。** 取り付けに不備があると落下し、感電・けがの原因となります。 • **電源を接続する際は、器具の取り付け方法によって確実に行う。** 接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災の原因となります。	• **器具取り付けの電気工事は、必ず工事店、電気店（有資格者）に依頼する。** 一般の方の電源工事は、法律で禁止されています。

注意	
水ぬれ禁止	• この器具は非防水であるため、湿気、水気のあるところで使用しない。 感電、火災の原因となることがあります。
禁止	• この器具は屋内（0℃～40℃）であるため、屋外で使用しない。 屋外で使用すると、漏電し、感電、火災の原因となることがあります。 • 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しない。 感電、火災の原因となることがあります。 • 万が一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常を感じた場合、すぐに主電源（壁スイッチ）を切る。 異常事態がおさまったことを確認して、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにご連絡ください。
分解禁止	• 部品の追加改造は絶対にしない。 火災、感電の原因となります。

注意	
必ず守る	• 壁付調光器のある回路では使用しない。 照明器具が故障します。 • 精密機器のため、落としたり、衝撃を加えたりしない。 故障の原因となります。 • 本体が一部破損したまま、使わない。 落下、けがのおそれがあります。 • 温度の高くなるものを器具の下に置かない。 器具の下にストーブ、コンロなどの発熱物をおかないでください。火災、本体の変形、落下の恐れがあります。 • 照明器具には寿命があり、設置して8~10年経つと外観に異常が無くても内部の劣化が進行するので、点検・交換する。 点検せずに長期間使用し続けると、まれに発煙、発火、感電などに至るおそれがあります。 （周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。） ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。（JIS C8105-1解説による） • 本体のすき間に金属類（ヘアピン、針金、クリップなど）を差し込まない。 火災、感電の原因となります。 • シンナー、ベンジンなどの揮発性のものやアルカリ系洗剤などで本体を拭かない。 変色、変形、破損の原因となります。
禁止	• 万一、セードなどが破損した場合、破損部分に直接手や肌などをふれない。 けがの原因となることがあります。 • 点灯中、消灯直後はランプやその周辺が熱いので、手や肌などをふれない。 火傷の原因となります。
水濡れ禁止	• お手入れの際は、水洗いはしない。 火災、感電の原因となります。

アダプター使用上のご注意

警告	
必ず守る	• 結露するような高湿度環境に設置される器具には使用しない。 結露などにより水分がソケット内に侵入し絶縁不良を生じ、発煙、発火を起こす原因となります。 • 粉塵が多い環境に設置される器具には使用しない。 発火、発熱の原因となります。 • アダプターはカチッと音がするまで確実に回して取り付ける。 落下の原因または発熱して焼損や火災の原因となります。 • アダプターを外すときは、赤いボタンを押しながら左方向へ回して外す。 赤いボタンを押さずに回すと、本体が破損して器具落下の原因となります。 • 使用時にアダプター本体が100℃以上にならないような器具、取り付け位置で使用する。 発火、発熱の原因となります。 • 取り付ける照明器具の重量は、5kg以下のものを使用する。 器具落下の原因となります。

取り付け上のご注意

注意

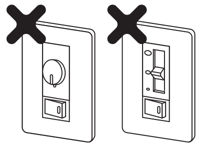
調光器のある回路では使用しないでください。

• 本器具を取り付ける電源回路は壁スイッチに調光器が接続されている場合、ランプが正常に点灯しなかったり、器具が故障することがあり、使用できません。

• 下記のような調光器が接続されている場合は必ず調光器を取り除いてください。

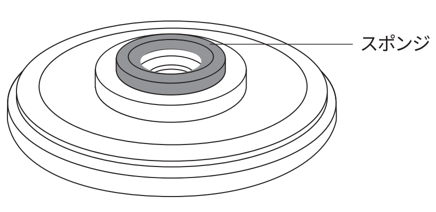
調光器付壁スイッチ代表例

調光器の交換工事は電気工事店にご依頼ください。



本体裏面のスポンジは取り外さないでください。

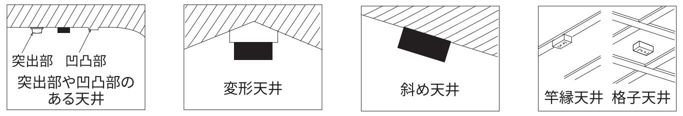
本体裏面



本体裏面に付いている黒色のスポンジは、取り外さずにご使用ください。

取り付けできない天井

下図の天井には取り付けできません。



下図の場合は、電気工事店か販売店にご相談ください。

配線だけのもの　破損しているもの　電源端子露出タイプ　ガタつくもの　ケースウェイに取り付いているもの

使用時の安全上のご注意

警告	
必ず守る	• 布や紙など燃えやすいもので覆ったりかぶせたりしない。 火災の原因となります。 • 器具の隙間や放熱穴に、金属類や燃えやすいものなどを差し込まない。 火災、感電の原因となります。 • シーリングライトの交換やお手入れの際には、必ず主電源（壁スイッチ）を切る。 主電源を切らないと感電の原因となることがあります。 • お手入れのためにセード、本体を外し再度取り付ける場合は、取扱説明書に従って確実に取り付ける。 不完全に取り付けると、落下してけが、物損の原因となることがあります。

注意	
必ず守る	• コネクターの接続は確実にフックが掛かるまで押し込む。 接触不良による発熱、焼損の原因となります。 • 接続コードに張力が加わらないようにする。 器具落下の原因となります。

乾電池を安全にお使いいただくために

液漏れ、発熱、破裂、発火、誤飲による大けがや失明などを避けるため、以下のことをお守りください。

警告

• 電池は充電しない。
• 電池の液が目に入ったときは失明のおそれがあるので、すぐに多量の水道水などのきれいな水で洗い流したあと直ちに医師の治療を受ける。
• 機器の指示に従って⊕と⊖を正しく入れる。
• 電池を使い切ったとき、長期間使用しないときは、機器から取り出しておく。
• 新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。
• ショートさせたり分解したり、加熱したり、火の中に入れたりしない。
• 電池は乳児の手の届かない場所に置く。誤って飲み込んだ場合は、すぐに医師へ相談する。
• 電池の液が皮膚や衣類に付着した場合は、すぐに多量の水道水などで洗い流す。

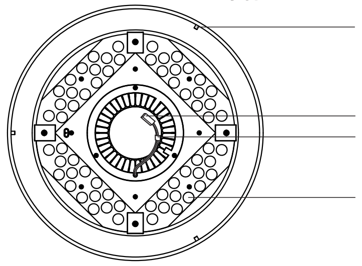
注意

• 火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など高温になる場所で使用、保管、放置しない。
• 外装ラベルをはがしたり、傷つけたりしない。
• 落下させたり、投げつけたりして強い衝撃を与えない。
• 指定された種類以外の電池は使用しない。
• 電池を保管、廃棄する場合は、端子部をテープなどで絶縁する。
• 電池に直接はんだ付けしない。

各部の名称

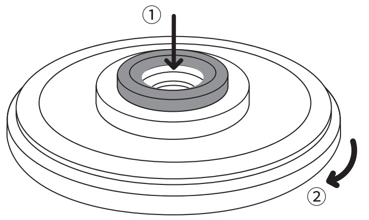
※ イラストは説明イメージのため、実際とは多少異なる場合があります。また、製品及び取扱説明書は改良のため予告なく変更する場合があります。

本体



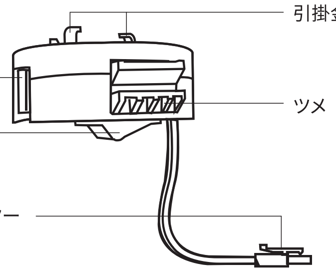
※購入時は、セードを取付けた状態ですので、以下の方法でセードを取り外してください。

本体裏面

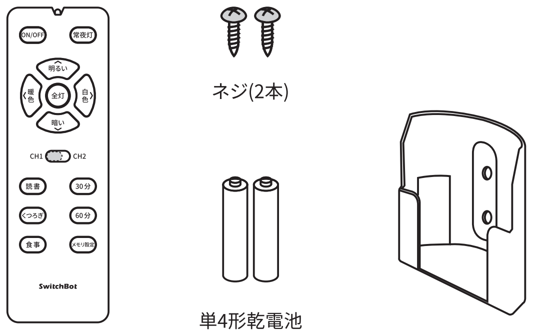


① 本体裏面中央の穴を手でつかむ。
② ①の状態でセードを左に回すと、セードが本体から外れます。
※セードを取り外す際は、落とさないように注意して外してください。

専用取付アダプター

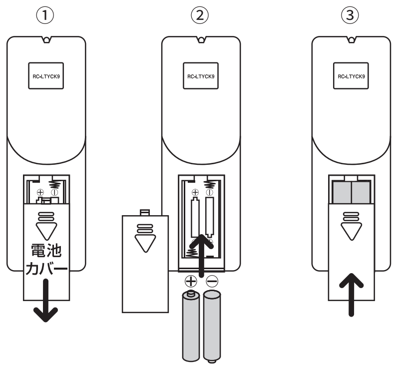


リモコン付属部品



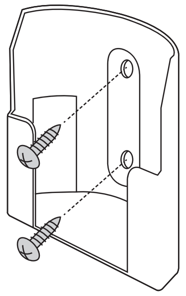
リモコンへの電池の入れ方

① リモコン裏面の電池カバーを押しながら下に引いてください。
② 単4形乾電池2本を、電池ボックス内の指示通りに⊕⊖の向きを合わせてセットする。
③ 電池カバーを①と逆の手順で閉めてください。



リモコンケースの取り付け方

お手持ちのプラスドライバーをご用意ください。
お部屋の壁などに、リモコンケースをあて、付属のネジ2本を、リモコンケースの穴を通してプラスドライバーでしめて取り付けてください。
(下図参照)



お使いになる前に

- スマホやタブレットのBluetoothバージョンが4.2以上を確認してください。
- 下図のQRコードをスキャンして、SwitchBotアプリをダウンロードしてください。
- SwitchBotのアカウントをログインもしくは作成してください。

App Store からダウンロード　Google Play で手に入れよう

iOS 11.0+　Android 5.0+

照明器具の取り付け方

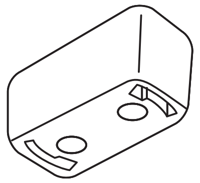
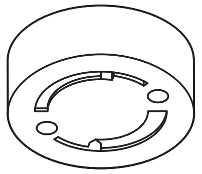
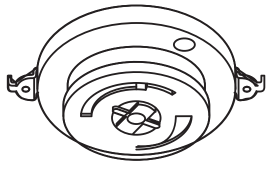
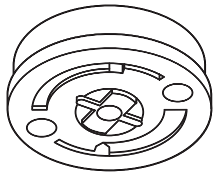
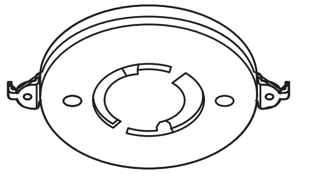
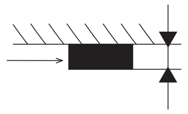
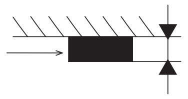
安全のため、主電源（壁スイッチ）を切り、器具の周辺が冷めてから行ってください。

①天井の配線器具の形状を確認する

ポイント：引掛シーリングの形状によって取り付け方法が異なります。

取り付けできる配線器具（引掛シーリング）

下図の引掛シーリングであれば取り付け可能です（ガタつきや破損がないことをご確認ください）。

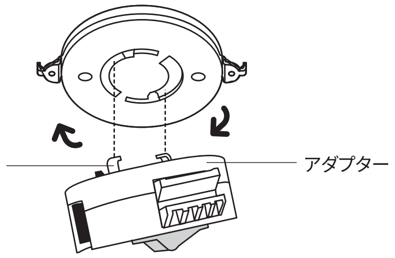
Aタイプ				Bタイプ
				
角型引掛シーリング	丸型引掛シーリング	引掛ローゼット	丸型引掛ローゼット	埋込ローゼット
 配線器具 出しろ		出しろが21mm以下は、取り付けできません。		 配線器具 出しろ 出しろが10mm以下は、取り付けできません。

引掛シーリングの形状は上記AとBの2タイプ。上記の形状以外の特殊な引掛シーリングには、取り付けできない場合があります。

②アダプターを取り付ける

アダプターの引掛金具を引掛シーリングに挿入し、カチッと音がするまで右に回してください。

ポイント：取り付け後、赤いボタンを押さずに左に回して、はずれないことを確認してください。



⚠ 警告

落下のおそれあり。取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

③本体を取り付ける

引掛シーリングの形状が

Aタイプの場合

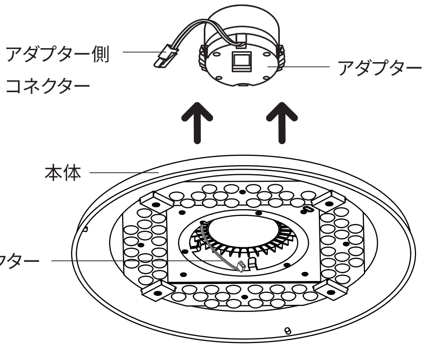
1.1回押し上げて

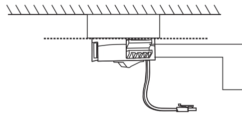
最初にアダプター側コネクターを本体中央の丸穴より通してから、本体中央の丸穴にアダプターを通して本体を天井に押し上げる。

※本体は仮固定状態ですので、ぐらついています。

2.さらにもう1回押し上げる

さらに強く本体を天井に押し上げる。





取り付けた際、上図を参照して以下をご確認ください。

❶ ツメの位置が上段。
❷ 本体のぐらつきがない。

引掛シーリングの形状が

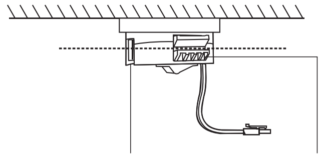
Bタイプの場合

1.1回だけ押し上げる

最初にアダプター側コネクターを本体中央の丸穴より通してから、本体中央の丸穴にアダプターを通して本体を天井に押し上げる。

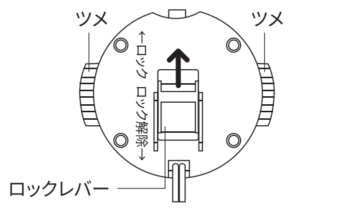
取り付けた際、上図を参照して以下をご確認ください。

❶ ツメの位置が下段。
❷ 本体のぐらつきがない。



引掛シーリングの形状が

ABタイプ共、最後にロックレバーでロック
本体を取り付けたあと、アダプターのロックレバーを、ロック表記の方向にカチッと音がするまでスライドさせて、ツメをロックしてください。 ポイント:しっかり取り付けられているかを確認する。 **⚠警告** 落下のおそれあり。取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。



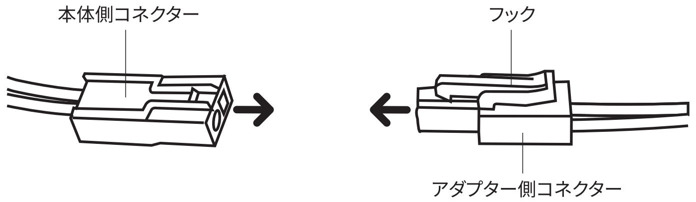
④コネクターを接続する

本体側コネクターにアダプター側コネクターを確実にフックが掛かるまで差込んでください。

※接続する際は必ずコネクター部分を持って行ってください。コード部分を持って行うと断線のおそれがあります。

※本体に、コードが垂れ下がらないようにするコード留め具がありますので、コードはその留め具を通してください。

(「各部の名称」の本体図参照)



⑤セードを取り付ける

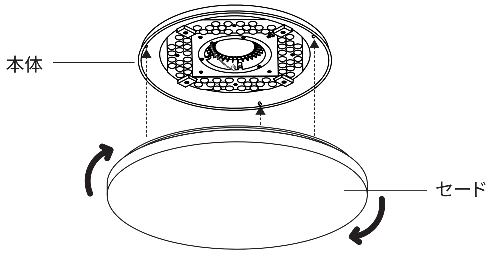
セードを持ち上げて本体にはめ込み、パチンと音がして止まるまで右に回します。

※セードを取り付ける際、本体が回転してしまう場合は、本体の取り付け(押し上げ)が不十分です。再度、「③本体を取り付ける」に従い本体の取り付け(押し上げ)をしてください。

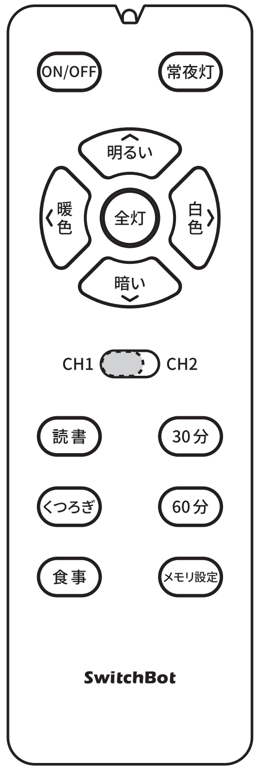
※セードを取り付けた際、セードが傾いていたり、すき間が均一でない場合は取り付けが不完全ですので、セードを左に回してはずし、再度セードを取り付けてください。

⚠警告

落下のおそれあり。取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。



リモコンで操作する



「ON/OFFボタン」 ONにするとメモリ設定ボタンで記憶した状態に点灯。

「常夜灯ボタン」 ボタンを押すと、常夜灯が点灯。もう一度押すとミッドナイトモード(暖色約2700k、一番暗い)に切り替える。

「明暗ボタン」 LED(100%~1%)、常夜灯(3段階)の明るさを調節。

「全灯ボタン」 LED昼光色100%の明るさ。

「調色ボタン」 LEDの光の色を白い色から暖かい色に連続で調節。

「チャンネルスイッチ」 操作する器具のチャンネルを設定。

「30分ボタン」 30分切りタイマー。

「60分ボタン」 60分切りタイマー。

タイマーの解除方法:もう一度押すと「ピーッ」と音がして、タイマー解除。押すごとで切り替わる。

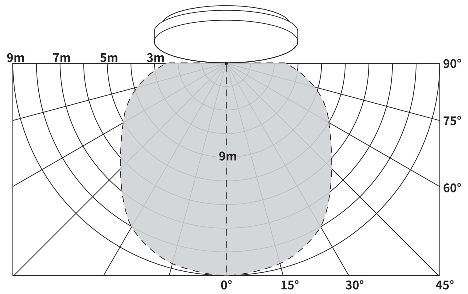
「メモリ設定ボタン」 3秒長押しで現在の明るさと色を記憶させる。

「読書シーンボタン」 文字が読みやすい、昼光色相当の明かりで点灯。

「くつろぎシーンボタン」 明るさを抑えた、暖かな電球色相当の明かりで点灯。

「食事シーンボタン」 暖かい、電球色相当の明かりで点灯。

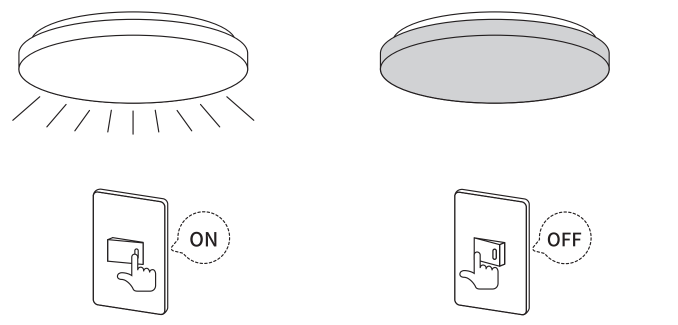
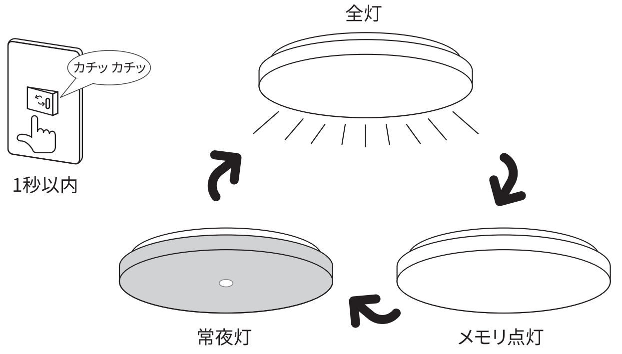
リモコン操作範囲



設定する前に

1. シーリングライトの電源をONにしてください。
2. SwitchBotアプリにログインしてください。
3. SwitchBotアプリを開いてホーム画面の右上にある＋アイコンをタップして、デバイスの追加画面に入ります。SwitchBotシーリングライトのアイコンをタップして、指示に沿ってデバイスを追加してください。

壁スイッチで操作する

壁スイッチで明かりをつける	壁スイッチで点灯状態を切り替える
 壁スイッチON:点灯(ラストメモリー) 壁スイッチを切る前の明かりを再現します。 壁スイッチOFF:消灯 消灯します。	壁スイッチをONにした状態で、短く(1秒以内)スイッチを操作することで、点灯状態を切り替えることができます。 

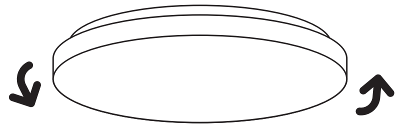
照明器具の取り外し方

安全のため、主電源(壁スイッチ)を切り、器具の周辺が冷めてから行ってください。

①セードを取り外す

セードを左に回すとセードが本体から外れます。

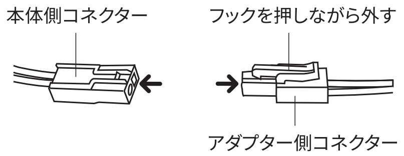
※セードが落下しないように注意して外してください。



②コネクターを外す

アダプター側コネクターのフックを押しながら、本体側コネクターから外します。

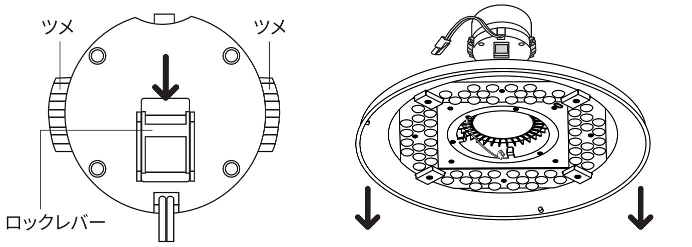
※外す際は必ずコネクター部分を持って行ってください。コード部分を持って行うと断線のおそれがあります。



③本体を外す

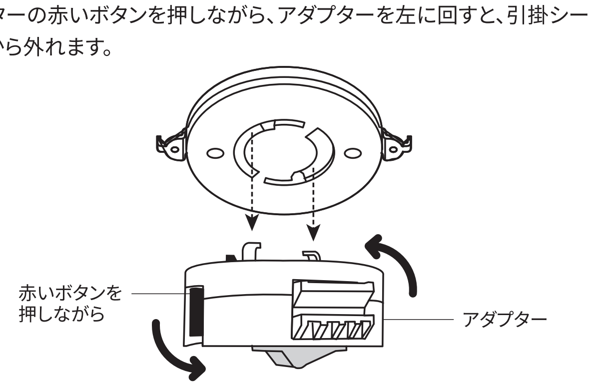
アダプターのロックレバーを、ロック解除表記の方向にスライドさせると、ロックが解除され本体が外れます。

※本体は重量がありますので、外す際に、本体を落下させないように慎重に外してください。

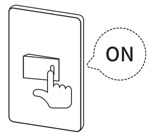
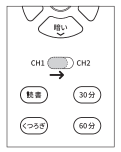
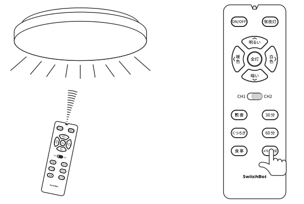


④アダプターを外す

アダプターの赤いボタンを押しながら、アダプターを左に回すと、引掛シーリングから外れます。



照明器具のチャンネル設定方法

①チャンネル設定を行う器具(1台)のみを壁スイッチONにする。周囲のリモコン照明器具は、必ず壁スイッチOFFにする。	②「チャンネルスイッチ」を希望のチャンネルにあわせる(チャンネル1~2)。	③リモコンを器具に向けて、「メモリ設定ボタン」を2回押す→「ピピーッ」と音がして設定完了。
		

初期化

連続でON/OFFを8回操作し、操作の間隔は2秒とします。シーリングライトが5秒間白く呼吸し、点灯になると初期化完了です。